

## 120925 青いキノコ

先日、**金剛山頂**の**ブナ林**を歩いていると…

倒木の幹の一部が「**青緑色**」になっているのを見ました。  
ペンキなどの人工物かな、と思いながら近づいてよく見ると…

何と、小さなお茶碗型の**キノコ**がたくさん出ていたのです！  
この青緑色は天然のキノコの色だったのです！

さてこのキノコ…

秋になると朽ち木上に発生して、腐朽木を青緑色に染めるようです。  
図鑑で調べてみると「**ロクショウグサレキン**」という名前でした。

このキノコの色が「**緑青**(ろくしょう)」と同じような色をしていることからの命名でしょうね。  
この美しい色は“キノコ染め”にも使われているそうです。

キノコだけではなく、菌糸のときにもこの青緑色の色素を滲出しますので、菌糸が伸びた材も青緑色に染まっていくということです。

そう言えば…

これまでも森の中を歩いていると、青っぽい色に見える腐朽木を見たことはありましたが、このようなキノコが出ているところを見たのは初めての経験です。



